

ともだ
共田たけふみ
長野県議会議員

2018.10
Vol.01

Change is
an opportunity

県議会レポート Prefectural Assembly Report

■発行責任者／長野県議会議員 自由民主党県議団 共田たけふみ 長野県岡谷市長地権現町3丁目3-3 <http://www.tomodafm.com>

**政治はもっとオモシロイ
未来は必ず明るくなる**

Profile

略歴

1973年1月16日生まれ（45歳）
岡谷市出身
岡谷南高等学校
工学院大学卒業
有限会社ソレボク 代表取締役社長
TOKYO 自民党政経塾 卒塾
グローバルリーダー育成塾 卒塾

役歴

岡谷市議会議員 副議長
（公社）諏訪圏青年会議所 理事長
諏訪湖よさこい 祭典委員長（初代）
岡谷市商業連合会 副会長
NPO法人 維新塾 副理事長
岡谷市社会福祉協議会 理事
岡谷市消防団第六分団 班長
山雅後援会岡谷支部 顧問
田中通り商業会 副会長
岡谷南高校同窓会 副会長

ります。

ツクスに引き続き取り組んで参ります。

【回答】本年度からスタートした『しあわせ信州創造プラン2・0』においても「自家用車に依存しない地域づくり」を掲げ、広域的な交通ネットワークの充実に取り組むこととしております。バス・タクシーに対して様々な支援を行ってまいりましたが、これに加えて今年度から信州ナビを活用したバスロケーションシステムを導入することとしております。また、県内共通の交通系ICカード導入に向けた取り組みも進めております。これらの新たな取り組みによって、より効率的な路線やダイヤ編成の検討など生産性向上に資するものと考えております。こうした取り組みも合わせながら、

鉄道・バス・タクシーのベストミックスに引き続き取り組んで参ります。

【回答】タクシースは鉄道やバスに比べて狭い道路での輸送に対応でき、ドアtoドアで輸送できるなどが強みです。中山間地や高齢者が多い長野県においてはこうした強みを持つタクシースは、公共交通ネットワークの維持・確保に大変有効な手段です。一方で運賃が高くなってしまおうという点が、広く活用され定着する上での課題となります。こうした観点から、昨年設置いたしました「地域における移動手段の確保・補完に関する検討会」には、タクシース事業者も参画を頂き、近々実証実験が始まります定期券タクシースや生活支援タクシースなど新たな取り組みの提案を頂いております。今後、自動運転技術の動向も視野に入れながら、県民の移動の足を担う公共交通機関としての新たな展開をタクシース業界とも連携して検討して参ります。

【共田質問1】高齢者など交通弱者が不自由なく移動できる環境整備の必要がありますが、公共交通を維持管理ほか確保するための今後の取り組み方針についてお伺いします。

【共田質問2】公共交通が充実していない地方こそ、無人タクシーなど自動運転技術を活用すべきだと考えますが、実用化及び普及には時間がかかります。高齢者などには当面タクシーが有効な交通手段と考えますが、所見をお伺いいたします。

平成30年
9月議会
一般質問

地域公共交通の確保について